

学術表彰 学術賞

大阪大谷大学 教授 秦 康宏 先生



(左は日本レセプト学会理事長大友達也教授、右が秦 康宏教授)

令和6年11月14日、ベトナム、ハノイ市で開催された第6回 日本レセプト学会国際学術ベトナム大会において、学術賞を受賞させていただきました。心より光栄に存じます。誠にありがとうございました。

私は、これまで日本における外国人介護人材に関する研究を行ってまいりました。外国人介護人材への支援は、自立支援を目標とし、地域社会と外国人介護人材の間に適切な橋渡し（調整）役を果たすことが重要です。外国人介護人材を単なる短期的な労働力として見るのではなく、複合的かつ相互に関連する要因を包括的に理解し、ソーシャルワーク視点で生活課題に向き合う必要があります。

今後、「日本の介護は素晴らしい」と感じられるような魅力発信が、外国人介護人材の成長欲求に繋がっていくと考えています。大阪府下の全施設や全国の先駆的施設を調査した結果、生活支援の重要性が明らかになっています。外国人介護職員が地域に参加し、ともに暮らす地域メデイエーションスキーム（ボランティアによる地域間での調整や仲介する仕組み）を活用すれば、彼らの自立度が向上し、地域への受け入れが促進されと考えられる。外国人介護人材の福祉が向上すれば、一方的なサービス受領から高齢者へのケアの向上、キャリアアップにつながり、地域共生社会の構築が可能となると信じています。そのためには、このモデルを他の地域にも適用可能な形で体系化し、普及を促進していきたいと思っています。

日本レセプト学会は医療・福祉分野において国際性ある研究を重視し、毎年国際学術大会を開催しております。2024年のベトナムハノイ市における国際学術大会にて、授賞式を行いました。秦教授のこれまでの取り組み、功績は当学会における研究に大きな影響を与えており、日本の福祉分野の発展に寄与しているとし、高く評価し、学術賞受賞となりました。当学会からの学術賞の授与は史上3人目の受賞となりました。

日本レセプト学会 論文表彰委員会・学術賞審査委員会